

石狩

秋の三大祭り

※内容は変更する場合があります

第29回 浜益ふるさと祭り

◎9月18日(日) 9:00～15:15

場 所 川下海浜施設イベント広場

内 容 サケや黒毛和牛などの農畜水産物の販売、
郷土芸能、ビンゴ大会、もちまき大会ほか

問合せ (社)石狩観光協会浜益事務所 ☎79-5700

同日開催

◆2011浜益「いっぺ、かだれや」林道ウォーク

◆森林環境学習

◆ノルディックウォーキング体験

どぶろく「石狩に浜っちゃん益」
(各50本)限定販売します!



第38回 厚田ふるさと あきあじ祭り

◎9月23日(金・祝) 9:00～14:30

場 所 望来コミセン(みなくる)多目的広場

内 容 あきあじの重さ当て、宝引き・もちまき、
特産物の販売、伝統芸能ほか

問合せ 石狩北商工会 ☎78-2513

第48回 石狩さけまつり

◎9月24日(土)・25日(日) 9:00～17:00

場 所 弁天歴史通り一帯

内 容 千人鍋(石狩鍋)、石狩産朝獲りサケの即売会、
サケのつかみ取り・サケ料理の販売、
もちまき大会ほか

※JRヘルシーウォーキング同日開催(24日のみ)

問合せ (社)石狩観光協会 ☎62-4611

HP <http://www.ishikari-kankou.net/>



カラスがカニを隠した！カラスの「貯食」^{ちよしよく}行動



打ち上げられていたカニ籠



「貯食」とは、木の实など食べ物を貯蔵する野鳥の行動を指す言葉で、カラス、ヤマガラなどに見られるそうです。実は6月、偶然石狩川河口近くで、この「貯食」と思われるカラスの行動を目撃しました。見たのは初めてで、大変驚かされました。

その日、浜沿いを河口に向かって歩いてみると、河口の少し手前に赤いカニ籠が打ち上げられていました。中をのぞくと、生きたカニがたくさん入っていました。カニは石狩で「川ガニ」あるいは「ガニ」と呼ぶ川のカニで、正式には「モクズガニ」といいます。有名な「上海ガニ」と近い種類で、近年は人気だそうです。

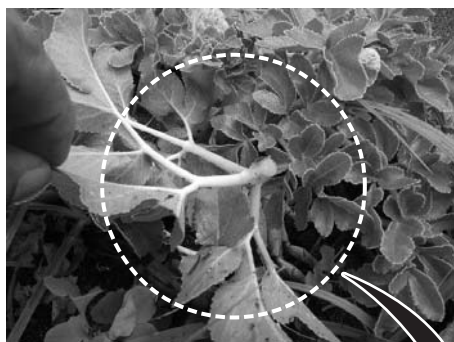
さて、カニを取り出し写真を撮っていると、カラスが1羽、近くの流木に

止まりました。カニが流木の方へ行くと、突然カラスは木から飛び降りてカニをくわえ、地面にたたきつけはじめました。間もなくカラスがもう1羽来て、別のカニに攻撃を加えます。食べようというのです。撮影を終えて歩いていると、カニをくわえたカラスが前を横切りました。川岸の木の枝などが打ち寄せられているところに降り、しきりに頭を動かしています。向こう向きでよく見えませんでした。何度か枝をくわえ下に置いたようです。1分もしないうちにカラスが飛び立ちました。カニはくわえていません。急いでそこに行きましたが、カニは見当たりません。

あれ？と思うっていると、またカニをくわえたカラスが、今度はハマボウフウの株のところに降りました。目を凝らしていると、カラスはカニを置き、ハマボウフウの葉をくちばしで切り取って、あたりを見回してから置きました。カラスがいなくなつて行ってみると、思った

とおり切りとった葉はカニにかぶせてあり、見えなくなっていました。やはりカラスはカニを隠していたのです！最初も同じ行動だったでしょう。翌日のぞいてみると、かぶせてあった葉がどけてあり、カニは無く、忘れず回収して行つたようです。

カラスの賢さは知っていました。が、これほどだとは思いませんでした。
(石橋孝夫)



かぶせた葉をとると…



カニが隠されていた！